

蟻	蟻の列鞭の如くに飴に伸ぶ		蟻	蟻はまだ眠れるころか蝉穴を	2014. 8. 4
	黒山の蟻となりけり何かをる	2014. 3. 29		しづかなる蝉の穴にぎはひの蟻の穴	2020. 3. 22
	黒山の蟻のありけり何かをる			蝉の穴しづか蟻の穴にぎやか	
	黒山の蟻の下には何かをる			蝉の穴少し離れて蟻の穴	2020. 4. 23
	黒山の蟻も蝶々も声のなし			蟻の穴少し離れて蝉の穴	2020. 6. 21
	黒山の蟻に歓喜の声もなし	2020. 4. 22		蟻の穴にぎやか蝉の穴孤独	2020. 6. 22
	黒山の蟻に隠れて蠢けり			蟻の穴賑やか蝉の穴孤独	
	黒山の蟻に隠れて蠢くよ			蟻の穴繁盛蝉の穴孤独	
	黒山の蟻に隠れてしまひけり			蟻はまだ眠れるころか蝉出づる	2020. 6. 23
	黒山の蟻に埋れてしまひけり	2020. 4. 23		寂しさや蟻も覗かず蝉の穴	
	黒山の蟻に隠れて静かなり			寂しさや蟻も覗かぬ蝉の穴	
	黒山の蟻を乗せたるもの動く	2020. 6. 20		孤独なり蟻も覗かぬ蝉の穴	2020. 6. 24
	山盛りの蟻を乗せたるもの動く	2020. 6. 21		蝉の穴蟻も覗かぬ孤独なり	2020. 6. 26
	黒山の蟻の集りしもの見えず			蝉の穴蟻の穴より孤独なり	
	黒山の蟻の歓喜の声を聞け	2020. 6. 22		孤独なり蟻の過ぎ行く蝉の穴	
	やや動く背中の蟻を零しつつ	2020. 6. 23		純情や蟻の過ぎ行く蝉の穴	
	やや動く背に乗る蟻を零しつつ			転生や蟻の過ぎ行く蝉の穴	
	震へつつ背に乗る蟻を零しつつ			輪廻かな蟻の過ぎ行く蝉の穴	2020. 6. 27
	恐ろしや背に乗る蟻を零し行く			歲月や蟻の過ぎ行く蝉の穴	
	足掻きつつ蟻を腹より零しつつ			黙殺の蟻の過ぎ行く蝉の穴	
	足掻きつつ邪悪な蟻を零しつつ			紅白の磁石を置きぬ蟻の列	2014. 8. 16
	あがきつつ邪悪な蟻をこぼしつつ	2020. 6. 26		紅白の磁石を越えて蟻の列	
	鶏頭を上る蟻みて下る蟻	2014. 5. 18		蟻の列磁石を置けば曲りけり	
	鶏頭を上る蟻みて下るもみ	2014. 5. 24		蟻の列磁石を置けば曲るなり	2020. 4. 22
	遠足の列の如くに蟻の列	2014. 6. 3		蟻の列紆余曲折の自ら	2020. 6. 22
	蟻のごと城址をのぼる人の列	2014. 7. 24		近づけば二筋三筋蟻穴へ	2014. 8. 16
	遠足の列より長し蟻の列	2015. 8. 11		本流となつて蟻の巢に戻る	
	遠足の如き足並み蟻の列	2020. 4. 23		二列三列大物へ行く蟻の列	2020. 4. 22
				松に蟻その行先は知らねども	2014. 8. 16
				白蟻は家に黒蟻は炎天下	2014. 8. 16
				担がれしものの暴るる蟻の列	2014. 9. 11
				担がれしもののふるへる蟻の列	2020. 4. 23
				担がれしものの恍惚蟻の列	
				担がれて蝶の恍惚蟻の列	
				担がれし蝶の恍惚蟻の列	
				引かれゆく蝶の恍惚蟻の列	
				王のごと蝶担がれて蟻の列	
				担がれし蝶の恍惚蟻進む	
				担がれし蝶の恍惚蟻あゆむ	2020. 6. 20
				引かれゆく蝶の恍惚蟻の顎	2020. 6. 22

蟻	蟻の巣に入らぬものを壊すかな	2015. 5.31	蟻	<u>蟻の列静かに夕日沈み行く</u>	2015. 8.11
	蟻の巣に入らぬものを壊しをる			蟻の列静かに夕日沈みゆく	2020. 6.23
	蟻の巣に入らぬものを噛み砕く	2020. 4.23		蟻一つ水に浮んでゐたりけり	2018. 3. 3
	蟻の巣に入らぬものを噛み分けて	2020. 6.20		蟻一つ浮んでゐたる水たまり	2018. 4.22
	蟻の巣に入らぬものを蝕める			蟻一つ浮んでゐたる盥かな	2018. 5.17
	<u>蟻の巣に入らぬものを突き崩し</u>	2020. 6.23		蟻一つ浮んでゐたるプールかな	
	トランプの上の一滴蟻誘ふ	2015. 5.31		<u>蟻一つ浮んでゐたるバケツかな</u>	
	空を飛ぶ蝶々が蟻の列にをる	2015. 6. 3		蟻一つ浮んでゐたるポリバケツ	
	空を飛ぶ蝶でありしが蟻の列	2020. 4.22		蟻一つ浮かべ玩具のバケツかな	
	蟻の列に母子といふはなかりけり	2015. 6. 5		蟻一つ浮かべ小さなバケツかな	
	<u>蟻の列に母子といふはなかるべし</u>	2020. 4.21		蟻一つ浮かべ小さなポリバケツ	
	蟻の列に母子といふはなかるべし	2020. 4.22		蟻一つ浮んでゐたる子のバケツ	
	<u>蟻の列にも殿のありぬべし</u>	2015. 6.24		蟻一つ浮かべて小さき子のバケツ	
	雑兵はただ黙々と蟻の列	2015. 8.11		蝶々をいくつ運びし蟻の列	2015. 5.31
	<u>雑兵の黒を連れて蟻の列</u>			蝶の羽いくつ通りし蟻の道	2016. 7. 9
	奴のごとく兵のごとくに蟻の列	2020. 4.22		蝶の羽いくつ運びし蟻の列	2018. 5.10
	<u>兵のごとく奴隷のごとく蟻の列</u>	2020. 6.27		後ろからもう一枚や蟻の列	2020. 4.22
	<u>静かさやどこまでも行く蟻の列</u>	2015. 8.11		もう一枚後ろにつづく蟻の列	
	<u>蟻は地に蜘蛛は軒端に働きぬ</u>	2015. 9.17		一枚に続く一枚蟻の列	
	蟻の巣は暗く蜂の巣も暗くある	2016. 3. 9		その後にもう一枚や蟻の列	
	<u>蟻の巣の暗さと蜂の巣の暗さ</u>			片方は少し遅れて蟻の列	
	蜂の巣は空に蟻の巣は地の中に	2020. 4.23		片翅は少し遅れて蟻の列	
	蜂の巣の死者蟻の巣に運ばるる			片翅は少し後から蟻の列	
	蜂の巣は空に蟻の巣は地へ潜り	2020. 6.23		翅既に蟻が持ち去り胴残る	
	蜂の巣の高さと蟻の巣の深さ			翅すでに蟻が持ちさり胴残る	
	蜂の巣は空に蟻の巣は地へ深く			<u>蝶の翅いくつ運びし蟻の列</u>	
	蜂の巣は空に蟻の巣は地底へと			蝶の翅蟻が運びて胴残る	
	蜂の巣は空に蟻の巣は地中へと			蝶の翅蟻が持ち去り胴残る	
	蜂の巣は太り蟻の巣は地へ深く			片翅は少し遅るる蟻の列	
	<u>蜂の巣は太り蟻の巣は地深く</u>	2020. 6.24		手も足もばらばらに蟻運び去る	2020. 4.23
	蝶の頭の近くに蟻の頭がありぬ	2015. 6. 3		<u>蟻の列に蝶の翅翅そして胴</u>	2020. 6.20
	蝶の頭の近くに蟻の頭の数多	2016. 5.20			
	<u>蝶の頭の周りに蟻の頭の数多</u>	2018. 6.22			
	蟻の如く文字集りて辞書重し	2016. 6. 7			
	蟻の列辞書をあふるる如続く	2020. 4.23			
	蟻の列辞書をあふるる文字の如				
	蟻の列辞書をあふるる文字のごと				
	蟻の列辞書をあふるる字の如く	2020. 6.20			
	<u>蟻の列辞書をあふるる字のやうに</u>	2020. 6.21			

蟻	<p>葬列のどこまで長し蟻の列 葬列のどこまで続く蟻の列 黒塗りの車続けり蟻の列 葬列の静かな歓喜蟻の列 葬列の即ち歓喜蟻の列 蟻の列歓喜の列に他ならず 蜂ならば蜜蟻ならばさて何を 葬列の歓喜の列は蟻の列 葬列か歓喜の列か蟻の列 葬列か歓喜の列か蟻あゆむ 葬列のどこまで続く蟻の道 曲りつつ長き沈黙蟻の列 沈黙の長き葬列蟻歩む 沈黙の長き葬列蟻の巣へ</p>	2019. 6. 8 蟻	<p>少しづつ遺体を運ぶ蟻の列 少しづつ死を分け運ぶ蟻の列 生を分け死を分け運ぶ蟻の列 葬列のゆつくり進む蟻の列 葬列の黒づくめなる蟻の列 少しづつ死を受け入れて蟻の列 生きてゐるものを慰め蟻運ぶ 生きてゐるものを宥めつ蟻運ぶ 引導を渡しつつ行く蟻の列 少しづつ生の欠片を蟻の列 啜へゆく生の欠片や蟻の列 啜へゆく生の断片蟻の列 運び行く生の断片蟻の列 啜へしは生の断片蟻の列 一口の生の断片蟻帰る 一口の生の断片蟻は巣へ 生も死も今は断片蟻の列 生も死も既に断片蟻の列 小分けして死を運び去る蟻の列 一口の生の断片蟻筆る 筆りたる生の断片蟻の列 筆りたる生の断片蟻たかる 筆りたる生の断片蟻すさる 筆りたる生の断片蟻担ぐ 筆りたる生の断片蟻逃ぐる</p>	2020. 4. 22
	<p>新しき死を嗅ぎ分けて蟻の列 新しき死を嗅ぎ当てて蟻の列 遠くまで死を嗅ぎ当てて蟻の列 遠くまで死を嗅ぎ当つる蟻の列 死を探し当てし伝令蟻急ぐ 死を見つけたりし伝令蟻急ぐ 急ぎゆく死の伝令や蟻の巣へ 蟻の巣へ死の伝令の急ぐなり 蟻の巣へ死の一報の急ぐなり 死を探し当てしと蟻の巣へ急ぐ</p>	2020. 4. 22	<p>蝸蜒の足の数ほど蟻たかる</p>	2020. 4. 22
			<p>蛇よりも長くくねりて蟻の道 蛇よりも長き全長蟻の道 全長は蛇より長し蟻の道 長く長く紆余曲折の蟻の道</p>	2020. 6. 22
			<p>蝶が行き花びらが行く蟻の道</p>	2020. 4. 22
			<p>昨日のごとく明日のごとく蟻の道 今日のごとく明日のごとく蟻の道 今日もまた明日のごとく蟻の道</p>	2020. 4. 22 2020. 6. 20
			<p>白靴も日傘もなくて蟻の道</p>	2020. 4. 22
			<p>心臓や働き蟻の血の巡り 血のかよふ働き蟻の働きぬ 血のかよふ働き蟻の手足かな 蝶の翅蟻の血肉となるものか</p>	2020. 4. 22 2020. 4. 23

蟻	数に物言はせて蟻の群がれる	2020. 4.22	蟻	日の差さぬ蟻の巣にして大家族	2020. 6.22
	数に物言はせて蟻の容赦なく	2020. 6.20		日の差さぬ蟻の巣なれど大家族	
	数に物言はせて蟻の貪りぬ			日の差さぬ蟻の巣に住む大家族	
	数に物言はせて蟻の集りをる			日の差さぬ蟻の巣に住み黒づくめ	2020. 6.23
	数に物言はせて蟻の山盛りに			蟻たかる白く解けゆくものの上	2020. 6.23
	数に物言はせて蟻の食ひ荒らす			付け替へてまだ新しき蟻の道	2020. 6.23
	数に物言はせて蟻の黒山に	2020. 6.21		付け替へて今朝新しき蟻の道	2020. 6.27
	数に物言はせて蟻の運び去る	2020. 6.22		付け替へて今朝あたらしき蟻の道	
	数に物言はせて蟻の恐ろしき	2020. 6.23		真つ暗な花瓶の中で蟻溺る	2020. 6.24
	数に物言はせて蟻の戦へる			夜の蟻ネオンを避けて働けり	2020. 6.27
	数に物言はせて蟻の群がりぬ			公園に夜のブランコ夜の蟻	
	数に物言はせて蟻の次々と			公園に夜のブランコ夜の蝉	
	数に物言はせて蟻の攻め上る			蟻の巣に秘密の扉ありさうな	2020. 6.27
	数に物言はせて蟻の攀ぢ登る	2020. 6.27		蟻の巣ふかく秘密の扉ありにけり	
	数にもの言はせて蟻のよぢのぼる			蟻の巣の秘密の扉他言無用	
	集りたる小匙一杯分の蟻	2020. 4.22		蟻の巣の秘密の扉他言すな	
	集りをる小匙一杯分の蟻	2020. 4.23		蟻の巣の秘密の扉人に秘す	
	たかりをる小匙一杯分の蟻			蟻の巣の奥の扉はまだ秘密	
	たかりたる小匙一杯分の蟻	2020. 6.21		蟻の巣の宝の谷に続くドア	
	連なれるものに山脈蟻の列	2020. 4.22		蟻の巣の王家の谷に続くドア	
	連なれるものに山々蟻の列			蟻の巣の王家の谷へ続く道	
	蟻の列日に幾度も擦れ違ふ	2020. 4.22		蟻の巣のこれは王家の谷へ続きをる	
	擦れ違ふ素知らぬ顔の蟻の列	2020. 6.22		蟻の巣は王家の谷へ続くらし	
	蟻の巣の頂点にある穴ひとつ	2020. 4.23		蟻の巣の王家の谷へ隠れ道	
	蟻の巣の一番上に穴一つ			蟻の巣の王家の谷へ地下通路	
	蟻の巣の一番上の穴が見ゆ			蟻の巣や王家の谷へ地下通路	
	蟻の巣の頂点にある穴が見ゆ				
	蟻の巣のてつぺんにある穴ひとつ	2020. 6.21			
	挨拶もそこそこに蟻働きに	2020. 4.23			
	黙々と蟻働くと云ふことも				
	概算で行き概算で帰る蟻	2020. 6.19			
	概算で行き概算で戻る蟻				
	まつ黒な蟻の素顔に汗もなし	2020. 6.19			
	まつ黒な蟻の素顔の見えずとも				
	夜の蟻目の玉光ることもなし	2020. 6.21			
	夜の蟻目玉の光ることもなし	2020. 6.22			
	夜の蟻めの玉光ることもなし				
	夜の蟻めのたま光ることもなし				
	夜の蟻いよよ目玉の黒光り				